

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

JOSAI INTERNATIONAL CENTER for the Promotion of Art and Science (JICPAS)

学校法人 城西大学

〒 102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

☎ 03-6238-1300

http://www.josai.jp/

Newsletter

Josai University Educational Corporation

3-26 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo ☎ 03-6238-1300 http://www.josai.jp/

No.9



千人ホールで基調講演する水田理事長



パネルディスカッションの様子



世界女性学長会議 全員で記念撮影

2009年9月16日、アジア地区の理事を務める本学水田宗子理事長が、主催校である伝媒大学南広学院より招待を受け、第4回世界女性学長会議に参加し、二つの基調講演を行いました。

午前の部において、南広学院の創立5周年を祝うオープニングセレモニーが南広学院千人ホールにて開催されました。その中で、水田理事長は、伝媒大学を含めた多数の中国大学執行部、中国政府高官、ユネスコの代表、また世界各国から参加した44名の学長、多

くのマスコミなど千人を超える聴衆を前にして、「高齢化社会における女性高等教育の課題」をテーマに、アジアにおける喫緊の課題について、何が問題で、いかにしてその解決をするのか、また、本学がGPも得て、すでにプロジェクト研究として解決に向けて取り組みを始めていることについて、英語で講演を行いました。講演終了後には、さまざまなトップから賛意を受け、極めて重要な提言であったので、是非原稿をもらいたいと囲まれるなど、非常に大きな反響をよびました。

午後の部では、「大学経営と環境問題」についてのパネル・ディスカッションにおいて「時代の変化に対応する大学経営と環境問題への取り組み―大学の社会的責任を果たすために―」と題した基調講演を英語で行いました。中国のみならず、世界各国の大学において、環境問題への取り組みは欠かせないものであり、それと同時にいかにそれが社会貢献に結び付くかが社会から問われているため、ここでも日本の代表としての水田理事長の話は、大きな注目を浴びました。

今回、伝媒大学南広学院を訪問し、劉継南院長をはじめ執行部の先生方、ボランティアの学生たちと親しく交流ができ、友好関係が一層深くなりました。今後は、研究プロジェクトの分野でも交流が展開されることでしょう。

講演会
シンポジウム

水田理事長 世界女性学長会議において基調講演

日時…2009年9月16日

場所…中国伝媒大学南広学院

講演会・シンポジウム

水田理事長 北京伝媒大学創立55周年記念式典にて基調講演

日時…2009年9月19日
場所…中国・伝媒大学

講演会
シンポジウム

2009年9月19日、姉妹校である北京伝媒大学創立55周年記念式典に本学水田宗子理事長が招待され、基調講演を行いました。

創立55周年を記念し、「メディアとコミュニケーションにおける高等教育フォーラム―国際的対話・イノベーション、コラボレーション、アクション」と題したフォーラムが開催されました。伝媒大学は、中国の新聞、雑誌、テレビ、ラジオなど多くのマスコミ人材を輩出する伝統ある大学で、この式典にも多くの取材がきていました。



基調講演の様子

世界各国から参加した学長を前に、水田理事長は、日本の高等教育における革新について、本学の取り組みを踏まえてスピーチを行い、その模様は、新聞とテレビを通じて、中国に報道されました。フォーラム終了後、参加した全ての学長により、「ここに参加した世界の学長たちがスクラムを組んで、コミュニケーションを大切にしつつ、メディアの分野において、世界の変化に対応できるグループ作りに取り組みよう」という共同宣言にサインがなされました。



蘇学長へ記念品の贈呈

水田理事長、官邸にて

男女共同参画推進連携会議全体会議にて報告

日時…2009年7月3日
場所…総理大臣官邸大ホール

講演会
シンポジウム

2009年7月3日午後15時30分より、総理大臣官邸大ホールにて開催されました男女共同参画推進連携会議全体会議において、今回は、地方の取り組み報告として10の地域版連携会議が招かれ、本学の水田宗子理事長が、千葉県男女共同参画推進連携会議副会長として、報告を行いました。

小淵優子少子化対策担当・男女共同参画担



ネットワーク立ち上げを宣言

当大臣、内閣府男女共同参画局坂東久美子局長、男女共同参画推進連携会議にかかわる全議員、10地域の連携会議関係者、そして都道府県担当者、男女共同参画センター関係者が一堂に集い、全体の活動報告と男女共同参画基本計画の改定、2010APCWLN日本開催など男女共同参画施策にかかわる最近の動きの報告がなされました。

河村建夫内閣官房長官もかけつけ、国・地方の力を集めて、一歩一歩男女共同参画社会の実現に向けて力を尽くしましょうとよびかけ、最後に、全員で、「国・地方男女共同参画推進ネットワーク」立ち上げ宣言を行い、多くの報道機関も集まるなか、アピールをしました。



発表する水田理事長

「ハンガリーとトランシルヴァニアの民話・

フォークロア」開催

講演会
シンポジウム

日時…2009年7月4日
場所…学校法人城西大学紀尾井町キャンパス

2009年7月4日(土)、紀尾井町キャンパスホールにて、「ハンガリーとトランシルヴァニアの民話・フォークロア」(ハンガ

リー文化センター主催、日本・ハンガリー国交回復50周年記念イベント)を開催しました。



ヴィシュキ氏の講演

当日はハンガリー大使館のアルベルト二等書記官を初め多数のお客様をお迎えしホールは満席となりました。

第一部では、ハンガリーの作家、詩人、演出家であるヴィシュキ・アンドラーシュ氏により、民話の演劇的アプローチとフォークロアというテーマで大変興味深い講演をしていただき、第二部では、国内愛好家団体によるハンガリー舞踊と民話朗読の公演で楽しいひと時を過ごし、終了後に、カフェにて交流会を開催しました。

水田理事長はヴィシュキ・アンドラーシュ氏と歓談し、同じ文学者同士として、文学、異種婚、民話などさまざまな点で話が広がりました。

講演会においては、ヴィシュキ氏の生い立ちそのものが、ハンガリー、ルーマニア、オーストリア三国と深いかわりを持ち、多くの筆舌に尽くし難い苦難を乗り越えて来られた方であるだけに、その講演の内容はとても感動的で、また三国との関係では日本ドナ

ウ交流年プロジェクトとしてもふさわしい講演になりました。

第2部では、ハンガリーの民話とフォークロアに深くかかわってきた日本側の愛好者の方たちが舞台上上がって楽器演奏やバラエティに富んだ民族舞踊などの成果を披露し、あたたかくまた身近なものに感じられる国際交流ができました。

城西大学から、現代政策学部3年生と2年生のうち、昨年ハンガリーへの短期研修へ参加した学生と、今秋実施の研修へ参加予定の学生が20名近く参加しました。学生たちは交流会でヴィシュキ氏と暫く歓談するなど、今回のイベント参加は、ハンガリーに関する理解を深め、研修に向けての事前学習として役立ちました。

本学は、2007年にハンガリー文化センターの設立に参画し、ブダペスト商科大学との学術交流協定など、様々なチャネルを通じて、日本とハンガリーとの国際交流活動を推進しています。



ハンガリー民族舞踊

メディア学部主催 映画・映像国際ワークショップ開催

講演会
シンポジウム

日時…2009年5月23日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

2009年5月23日(土)、城西国際大学メディア学部主催で、東京紀尾井町キャンパスにおいて、映画・映像に関する国際ワークショップを開催致しました。

このワークショップには、世界各国から約250名の参加があり、26のパネル・ディスカッションを企画しました。日本・アジア映画に関するを中心、アニメやロシア映画などさまざまなテーマのパネルが組まれ、発表者は、計150名にのほりました。

城西国際大学からは、女性学の分野より、“Women's Representation, Women Filmmakers”と題し、モデレータとして和智緩子教授、4名の発表メンバーが、ジェン

ダーの視点で、映画・映像を捉えたユニークな発表を行いました。熱心な受講者から、発表後、多くの質問が寄せられていました。

このワークショップ開催により、アメリカをはじめとする世界各国の映画・映像研究者と親しく交流でき、大きな成果を収めることができました。

豊かでユニークなメディアアカルチャーを持つ日本において、今後、日本・アジア映画研究の拠点として、活動・交流の場となるよう新たなセンターの設置も検討し、日本発の映画研究発信をメディア学部から積極的に行っていきたいと考えています。



パネルディスカッションの様子



多くの映画研究者が集う

国際交流活動

駐日ハンガリー大使による特別講演

国際交流活動



日時.. 2009年6月4日
場所.. 学校法人城西大学紀尾井町キャンパス



ボハール大使による特別講義

6月4日(木)、紀尾井町キャンパスホールにて、ハンガリー共和国駐日全権大使のボハール・エルヌー氏およびハンガリー政府観光局のコーシャ・バーリン・レイ局長による特別講義を開催しました。これは、城西大学が2008年度から第二外国語選択科目としてハンガリー語の講義を開設し、2009年度には200名を超える学生が履修しており、ハンガリー語を学ぶ学生の数が国内最大級の規模となっていることに大使が感激され、実現したものです。

講義と同時に、学術交流提携校であるブダペスト商科大学とホールをライブ映像でつなぎ学生同士の交流も行いました。

城西大学からはハンガリー語履修生、現代政策学部、城西国際大学からはハンガリー研修参加予定の観光学部生など約80名が受講しまし

た。

ボハール大使からは日本とハンガリーとの交流の歴史についてハンガリー語で講義いただき、コーシャ局長からはハンガリーの観光資源等についての講義が行われ、ハンガリー語を学ぶ学生や、観光学部の学生にとつて大変興味深い内容でした。

ボハール大使ご臨席のもと、ブダペスト商科大学の学生との交流では、本学を訪問



ブダペスト商科大学と映像をつないで学生の交流

されたヒダシ先生の挨拶、城西国際大学学院に在学中のハラスティ・ジャネットさんもハンガリー側で登場、双方の学生によ

ハンガリー国会議員団 城西大学を視察

国際交流活動



日時.. 2009年7月9日
場所.. 城西大学



2009年7月9日、外務省の招待で来日されているハンガリーの国会議員、ナブラチ・ティボル フィデス議員団長(フィデスはハンガリー最大野党。議員団長とは、日本の国会内議員会派の長に相当する高職)が、城西大学を訪問されました。議員団のみなさんは秋山晋吾先生が担当する城西大学ハンガリー語の授業を視察され、ナブラチ・ティボル議員が同授業の履修者を対象に「ハンガ

る自己紹介や質問のやりとりが和やかに行われ、ハンガリーという国を益々身近に感じることができました。

リーの現状について」と題した講演をして下さいました。

同氏は、学生の「日本の魅力は？」との質問に対して、「民主主義であること、政治的、経済的な安定感世界でも屈指である」と答え、「日本を高く評価している。また、非常に難しいとされているハンガリー語を、多くの学生が学んでいることに感銘を受け、将来において日本とハンガリーを結ぶ架け橋として活躍されることを期待します」とコメントされました。



ナブラチ・ティボル議員と学生の対話

ハンガリー共和国教育文化大臣の

ヒッレル・イシュトヴァーン氏が来学



日時：2009年9月17日
場所：学校法人城西大学紀尾井町キャンパス



ヒッレル教育文化大臣のあいさつ

としてハンガリー語の講義を開設し、また、城西大学現代政策学部および城西国際大学観光学部では、3年前からハンガリーへの短期研修を実施するなどハンガリーと着実な交流を続けています。本学における両国間の学術文化交流に対して、大臣からは感謝の言葉をいただきました。

9月17日（木）、ハンガリー共和国教育文化大臣のヒッレル・イシュトヴァーン氏が紀尾井町キャンパスを訪問され、城西大学の森本学長はじめ先生方やハンガリー語を学ぶ学生達と懇談されました。

学生は城西大学現代政策学部のハンガリー研修参加予定者など10数名と城西国際大学大学院に在学中のハンガリー国費留学生ハラスティ・ジャネットさんが参加し、大臣とハンガリー映画や、若者のファッションについてなどとても和やかな懇談となりました。

城西大学では2008年度から第二外国語



ハンガリー語を学ぶ学生と

広東省人民政府代表团 水田理事長表敬訪問

日時：2009年4月10日
場所：学校法人城西大学紀尾井町キャンパス



傅朗氏一行とともに

2009年4月10日（金）、広東省人民政府外事弁公室主任を団長とする傅朗氏一行7名が、南方日報首席記者とともに東京紀尾井町キャンパスに水田宗子理事長を表敬訪問しました。

傅朗氏一行とは、2007年12月に水田理事長が華南師範大学における日中女性学会議の開催のため広東を訪問、その後、広東の大学各校との学術交流が進んでいることもあり、大変和やかで親しい雰囲気での交流となりました。

水田理事長から、すでに広東にある中山大學と共同研究所を設立して、大きなプロジェクトが進んでいること、その他の大学とも共同研究が進んでおり、さまざまに交流の展開がなされていることについて、広東省からのご支援があったことを感謝します、今後ともどうぞご支援をいただきたいとの挨拶がなされました。

傅主任からは、私ははじめての城西大学訪問ですが、すでに広東のあちこちの友人から城西大学のことは聞いており、よく知っています。こんなに広東と交流がある大学はほかにないので、私もとして出来る限りの支援をこれからもしていきますとのお話がありました。

日本への訪問の目的は、首都圏区域の経済のメカニズム、体制の調査、また首都圏の環境保全のあり方、都、県、市の連携を協議する部門などについての視察です。

学校法人城西大学と広東省は、黄麗満前広東省人民政府代表団議長の表敬訪問を受けた

城西大学JMBAsカラシップ奨学生授与式

日時：2009年5月19日
場所：学校法人城西大学紀尾井町キャンパス



2009年5月19日（火）に城西大学JMBAsカラシップ奨学生授与式が本学東京紀尾井町キャンパスで行われました。

この奨学生制度は、大連理工大学管理学院から、本学JMBAsプログラムに参加する留学生（毎年5名）を対象に、本学大学院経営



中国大連海事大学訪問

日時…2009年6月2日
場所…中国・大連海事大学

6月2日、2008年7月に協定を締結しました中国大連海事大学へ、水田宗子理事長を代表とする学校法人城西大学一行が訪問しました。

王祖温校長ほか、外国語学院羅衛華院長、外国語学院日本語学部李延坤学部長や国際交



学研究科での1年間の勉学を奨励し、留学生の経済的支援を目的として設置されました。

授与式では、水田理事長をはじめ、学長、各学部長、研究科長

など多数が出席し、5名の留学生に対し、本スカラーシップが授与されました。5名の代表として徐瑞さんが、スカラーシップを授与された名誉を忘れないように、また先生方の期待を裏切らないように、JMB Aの開拓者として、自分を磨いていくつもりです。そして、一年間の期間の後、自信をもって、学んだことを報告させていただくことができるよう、がんばります。と決意と今後の意気込みを語ってくれました。

この城西大学JMB Aプログラムは、本年2月に、学校法人城西大学と大連理工大が管

理学院との間で、「1+1」のデュアルディグリープログラムに関する協約が締結されて始まりました。このプログラムにより、城西大学と大連理工大学の両方の修士の学位を取ることが出来ます。日本からも、中国ビジネスに興味のある多くの方々に、このプログラムに参加してほしいと願っています。



JMB A スカラーシップを授与された大連理工大からの留学生



大連海事大学王祖温校長と

流の担当責任者の方々から大歓迎を受け、親しく懇談をしました。

この懇談の中で、海事を専門とする大連海事大学と安房にキャンパスを持つ本学が、

「海の観光」分野など、互いの特徴を活かして、大学院レベルの交流、研修、留学に向け、具体的な話し合いに入ることが約束されました。

中国大連理工大にて水田三喜男記念

水田宗子奨学金及び水田記念文庫寄贈

日時…2009年6月3日
場所…中国・大連理工大



張書記との会見

6月3日、中国大連理工大において、水田三喜男記念水田宗子奨学金の授与式が行われ、水田宗子理事長より、選ばれた大連理工大学の学生たちに奨学金を授与しました。

今回の訪問では、張徳祥党委書記・校務主任と初めて会談し、会談の冒頭、今回で第5回となる水田三喜男記念水田宗子奨学金・水田記念文庫寄贈に対して、張党委書記より水田理事長へ謝辞が述べられました。引き続き、共同研究、教員の相互訪問、学生の相互短期研修、JMB A (デュアルディグリー) プログラムなどにおいて、緊密で、成果をなす交流となるよう、取り組みを強化することが確認されました。

た。水田宗子理事長は、学業にいつそう励み、将来、日中友好のために大いに活躍できる人材として育てほしい。両大学の末長い友情を期待して本奨学金を授与したいと挨拶されました。

奨学金授与式に引き続き、水田三喜男記念文庫第5次寄贈式が行われました。今回は、水田三喜男先生関連図書、政府系日書の最新版、城西大学・城西国際大学の紀要最新版など計40冊を寄贈し、大連理工大が管理學院の蘇敬勤院長に寄贈目録を手渡しました。



「水田三喜男記念」水田宗子奨学金を授与

中国西安外国语大学と学術交流協定及び 共同プログラムを締結

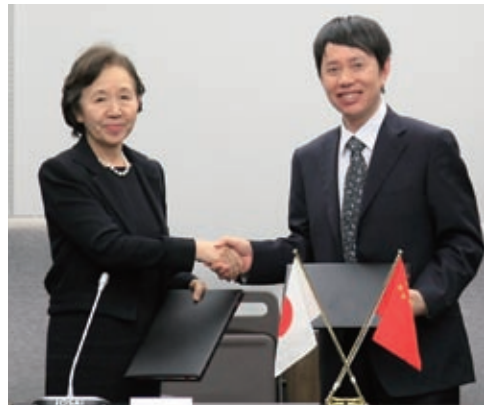
協定締結

日時…2009年4月20日
場所…学校法人城西大学紀尾井町キャンパス

2009年4月20日、中国西安外国语大学の学長戸思社先生他4名の訪問団が東京紀尾井町キャンパスを訪れ、学術交流協定及び共同プログラムの調印式が執り行われました。

西安外国语大学は、1952年に創立した、中国で最も歴史の長い外国語大学のひとつで、在校生は約1万8千人です。人文科学、経済管理学、法学、理学、教育学などの学科があり、その教育内容を相互浸透させるという新しい形の外国語大学です。

本学大学院の学生及び卒業生の中にも西安外国语大学の出身者がおり、実質的な交流は既にありましたが、この度の正式な調印によって、学部におけるデュアル・ディグリー制度や大学院における共同研究など、さらなる交流の拡大が期待されます。



戸思社学長とともに

フィンランド・北カレリア応用科学大学と 学術交流協定を締結

協定締結

日時…2009年6月1日
場所…フィンランド・北カレリア応用科学大学

2009年6月1日、フィンランドの北カレリア応用科学大学を経営企画室並河室長が本学水田宗子理事長の代理として訪問、学長のVesa Saarikoski先生と面談し、学術交流協定を締結しました。

同大学は1992年に設立され、学生数

約4000名、教職員数約400名、4つのキャンパスを有し、実学を中心に経済、エンジニアリング、福祉健康、芸術デザイン、メディアIT、観光などの分野があります。

日本の大学とは初めての提携で、ダブル

ディグリー制度、政府奨学金、英語によるディグリー獲得、大学院の充実などに関心がありました。また、福祉では少子化・高齢社会についての研究が進んでおり、このような分野での共同研究や学生交流も期待されます。



サイエンスパークキャンパス



芸術学部の作品

ハワイ大学マノア校と学術交流協定を締結

協定締結

日時…2009年6月11日
場所…城西国際大学 安房キャンパス

城西国際大学観光学部は、6月11日に安房キャンパスにおいて、ハワイ・オアフ島のハワイ大学マノア校観光産業経営学部との間に

隔講義（特別講座）が開講されています。ハワイにおけるウェルネスツーリズムの今後の展開、などの講義が展開されます。

遠隔講義に向けて、安房キャンパスを訪れましたハワイ大学マノア校のラッセル・ウエノ先生には、観光学部生を前にハワイの魅力についての講義をしていただきました。日本からの観光客を多く迎えるハワイということもあり、学生たちは、熱心にラッセル先生のお話を傾けました。

これまでも観光学部では、世界の観光地を訪れ、成功の要因を研究してきました。観光リゾート地の最先端地であるハワイの大学との協定により、同じく観光リゾート地にキャンパスを持つ本学観光学部の学生とハワイ大学マノア校との交流が期待されます。



ラッセル・ウエノ先生からハワイについて講義

韓国韓南大学校と学術交流協定を締結

協定締結

日時…2009年7月16日
場所…学校法人城西大学紀尾井町キャンパス

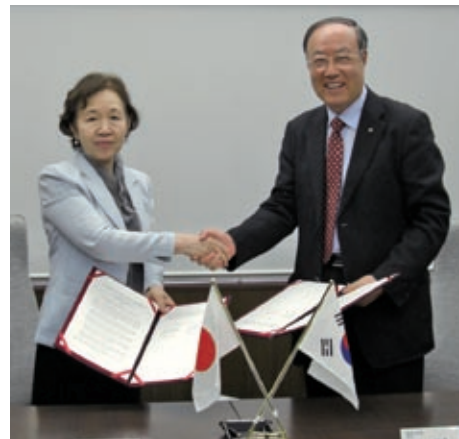
2009年7月16日、韓国韓南大学校金炯泰総長はじめ李秉哲対外協力処長・ナノ生命化学工学科教授、呉柱源教務処長・建築システム工学科教授、印美東国際交流員の訪問団が東京紀尾井町キャンパスに水田宗子理事長を表敬訪問し、金総長と水田理事長の間で学術交流協定の調印式が執り行われました。

韓南大学校は、大田市にある1956年創立のキリスト教精神に基づく大学で、教育学部、文学部、法学部、商経学部、理学部、社

会科学部、美術学部、生命・ナノ学部から構成され、学生数は約18000人です。非常に和やかな懇談となり、この正式な調印によって、学部におけるデュアル・ディグリー制度や大学院における共同研究などの交流がスタートいたします。

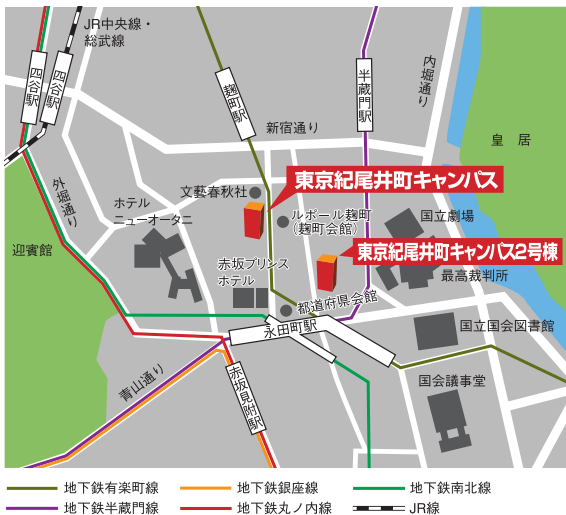
韓南大学校にとり、首都圏要素にキャンパスを展開する城西国際大学が、首都圏にある大学としては初めての提携校であり、紀尾井町キャンパス、東金キャンパス、幕張キャン

パスを訪問した一行は、今後の交流が非常に楽しみであり大きな期待を寄せているとのことでした。



調印後に金総長と握手

●周辺図



アクセス インフォメーション

- 地下鉄有楽町線 麹町駅 1番出口より徒歩3分
- 地下鉄南北線 永田町駅 9番出口より徒歩5分
- 地下鉄丸の内線・銀座線 赤坂見附駅 弁慶口より徒歩8分
- JR中央線・総武線 四谷駅より徒歩10分



学校法人 城西大学

城西大学／城西短期大学 **城西国際大学**

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL.03(6238)1300

学校法人 城西大学 <http://www.josai.jp/>

城西大学 <http://www.josai.ac.jp/> 城西国際大学 <http://www.jiu.ac.jp/>

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26
TEL 03(6238)1300 FAX 03(6238)1299